

八潮・勝島のまちづくりに関すること

まちづくり・公共交通推進特別委員会資料
令和7年6月11日
都市環境部都市計画課
防災まちづくり部道路課、公園課、河川下水道課

1 立会川・勝島地区まちづくりビジョン(平成31年1月)

■ 地区の将来像と目標

ひと・みず・みどりが育むうるおいあるまち

～水と緑が豊かで、安全・安心に暮らし、営めるまちづくり～

まちづくりの目標① 軸の形成

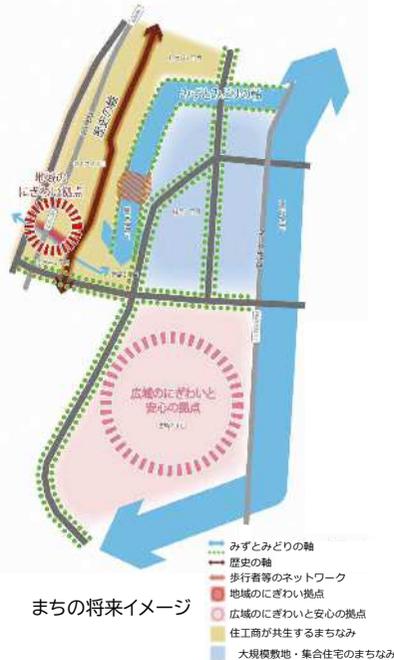
- 水・緑・歴史による地区の魅力を実際させる軸の形成

まちづくりの目標② 拠点の形成

- 地域のにぎわい・広域のにぎわいと安心をうみだす拠点の形成

まちづくりの目標③ まちなみの形成

- 大規模敷地を活かした緑豊かなまちなみの形成



まちの将来イメージ

■ まちづくりの方針と取組の方向性

みずとみどりの軸

勝島運河を中心とした地区を回遊したくなるまちづくりの推進

- ・勝島運河を活かした地域の団体や住人と連携したまちづくりの推進
- ・立会川エリアと勝島エリアの往来がしやすくなる歩行者等のネットワークの確保による、鮫洲駅や立会川駅へのアクセス性の向上、雇用の促進等、地域の活性化 など

歴史の軸

歴史や観光資源を活かした軸の形成

- ・旧東海道の歴史的な趣を感じられる景観まちづくりの推進 など

地域のにぎわい拠点

地域に密着した身近な買い物やにぎわいが楽しめる拠点の形成

- ・商店街の活性化や商業機能の強化等に向けた地域の団体等と連携したまちづくりの推進 など

広域のにぎわいと安心の拠点

広域のにぎわいのある都内有数の観光施設と災害時の拠点の形成

- ・事業者との連携により、大井競馬場を核とした地区内外を絡めた多様なイベントを活用したにぎわいを創出し、周辺エリアの活性化に寄与する内外の観光客誘致、フリーマーケット等の地域住民との交流促進等による地区のブランド力向上 など

大規模敷地・集合住宅のまちなみ

大規模な敷地を活かした緑豊かなまちなみの形成

- ・住民同士のコミュニティの活性化や、地域との関わり強化による災害時の体制強化 など

住工商が共生するまちなみ

暮らしと営みが調和した落ち着いたあるまちなみの形成

- ・狭あい道路沿道の建物建替え時に発生する道路後退により安全・安心な歩行空間を確保 など

2 八潮五丁目地区まちづくりガイドライン(考え方)(令和5年11月)

■ まちづくりの目標

- ◎ 緑の豊かさや水辺の潤いを守り、感じられるまち
- ◎ 安全で安心な暮らしと快適な居住環境を有したまち
- ◎ 世代を越えたコミュニティとにぎわいがあふれるまち

■ まちづくりの取り組みテーマ(抜粋)

環境

地域に親しまれ、憩いの場となる
緑・水辺づくり

1. 緑とふれあえる

- ・四季を感じられる植栽を有した緑道の整備などにより、快適で身近な憩いの場を創出
- ・地域の活動や学校等と連携した緑育活動を通じて、子どもたちが緑を学びふれあう機会を創出

2. 水辺のうるおいを感じられる

- ・水辺をより身近に感じられるように、親水性を高める水辺空間の整備と利活用を促進
- ・運河沿いのライトアップなど、魅力的な水辺景観を創出

3. 自然環境の機能を活かす

- ・都心に立地しながら有する豊かな自然環境を、土地利用との調和を図りながら活用
- ・地区を囲む緑道公園などを活用し、健康増進や交流機会の増加を目指した散策路の整備を目指す

安全・安心

人々の様々な活動を支える
安全・安心づくり

1. 日常の安全性を高める

- ・通学路や生活道路における防犯灯・防犯カメラの整備など、安全な通行と犯罪の抑止を促進
- ・建物や歩道の段差解消など、歩行者空間の連続的なバリアフリー整備を促進

2. 災害に備える

- ・学校や地域における一層充実した防災知識の普及を促進

3. 地域とつながる

- ・地域の人による子どもや高齢者の日常的な見守りを促進
- ・防災イベントなどを通じて住民同士の顔を合わす機会を増やし、防災力の強化を促進

コミュニティ

持続的な暮らしと
コミュニティづくり

1. 誰もが暮らしやすい

- ・多様なライフスタイルに対応する良好な居住環境の整備を促進
- ・障害の有無や特性にかかわらず、すべての人が生き生きと暮らせる環境整備を促進

2. 多世代交流ができる

- ・地域の一員として気軽に地域の活動に参加しやすい環境づくりを促進

3. 多文化が共生できる

- ・外国人居住者が快適な生活を送ることができるよう、多言語案内板やマナーブックの作成を促進

にぎわい

多様な魅力を備えたにぎわいづくり

1. にぎわいとやすらぎが調和する

- ・子どもの成長に応じた遊び場や居場所を整備
- ・公園やグラウンドなどのオープンスペースを活用したイベントの開催を促進

2. 地域資源を活かして魅力を高める

- ・学校等の施設開放により、地域住民のスポーツ活動や交流を促進
- ・公園の整備や運営に民間活力を導入し、魅力向上を促進

3. 個性とポテンシャルを活かす

- ・デジタルツールを活用し、地区の魅力やコミュニティの活動などを広く発信

(1) 水辺における取組

■ 品川区水辺利活用推進計画に基づく取組の推進

令和6年度に品川区水辺利活用ビジョンの目標達成に向けた行動計画として、今後10年間の水辺に関する具体的な取り組み内容をまとめた、「品川区水辺利活用推進計画」を策定した。この計画に基づき、水辺空間の日常利用に向けた取り組みを推進する。

■ 主な取組

① 小型浮桟橋を拠点とした地域による水上アクティビティ活動の実施

② 民間施設等のライトアップ実施・連携を促進

③ 観光クルーズ事業の支援やしながわ水族館と船着場が連携した水辺活用企画の検討

④ 周辺地域の防災機能強化について東京都と連携するとともに都や民間等が管理する防災船着場のイベント等への活用を促進

勝島運河

京浜運河

しながわ水族館船着場

大井競馬場船着場

大井心頭中央海浜公園船着場

■ 取組の進め方



(2) (仮称)勝島人道橋およびしながわ花海道水辺広場の整備

■ 立会川エリアと勝島エリアをつなぐ人道橋を設置

◎ 立会川エリアと勝島エリアの往来がしやすくなるネットワークの確保

【期待される効果】

公共公益施設等への利便性向上、水辺周辺の回遊性の向上、災害時の防災力の向上 など



(仮称)勝島人道橋整備イメージ

■ しながわ花海道水辺広場の再整備

◎ 勝島運河の水辺やの花海道のみどりを活かした回遊路の確保

しながわ花海道水辺広場は、臨海部に位置し、地域団体と連携した管理を実施しており、コスモスやユリの名所となっている。今後も永く地域の賑わいの拠点であり、歩いて楽しい街並みを残していくため、(仮称)勝島人道橋の整備にあわせ、修景工事をおこなう。



しながわ花海道水辺広場整備イメージ

■ 整備スケジュール(予定)

	名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1	(仮称)勝島人道橋	(仮称)勝島人道橋整備工事				
2	しながわ花海道水辺広場				花海道修景工事	